

安倍政権を倒そう!

安倍打倒署名

●通常国会終了直後
加計・森友学園疑惑題で
「今後、真摯(しんし)に説明する」
と約束!

●9月28日臨時国会
首相の所信表明演説・
各党代表質問も行わず
衆院冒頭解散?!

★加計・森友学園疑惑は一切説明されてはいない。引き続き国会の焦点だ。野党の追及を恐れ、異例の冒頭解散に持ち込むのは、安倍首相に絡んだ深い闇があるからこそ。自民党・二階幹事長は「小さな問題(9月19日)」と、問題のすり替えに必死だが、市民はダマされない!忘れていない!

★臨時国会開催を延ばしに伸ばし、開催したらすぐ解散は憲法53条違反!河野洋平元衆院議長(自民)…「安倍首相は(加計学園問題などを)丁寧に説明すると言ってきたのに、一度も丁寧な説明をしないで冒頭で解散する。理解できない」「要求された臨時国会をずっと開かず、冒頭に解散する。(首相は)議会制民主主義の本旨を踏まえてほしい」と、首相を批判(9/20(水)読売新聞)。

●「Jアラート」で大騒ぎ!
ミサイル危機はどうなった?
政治空白をつくって大丈夫?

●「制裁には時間がかかる」
「北朝鮮問題は長期化する」
いつ解散しても同じ…

★ミサイル問題が本当に差し迫った危機であるなら、政治的空白のリスクを考えて解散などできるわけがありません。それでも、安倍政権がことさら「危機」をあおっているのは、理由があります。①内閣支持率を上げる。②自治体・住民を巻き込んだ戦争できる国づくり(地方自治体・学校などの避難訓練)。③9条改憲・大軍拡の国民意識の合意形成(朝鮮は怖い国→自衛隊・軍事拡大は必要→憲法に自衛隊を規定→改憲発議・国民投票!)。自ら「危機」を作りだし、大騒ぎして政治利用しているのです。



●宇宙空間を飛ぶミサイルから落下物はあるのか?

★「日本上空を通過」と報道されたミサイルの高度は800Km。国際宇宙ステーションの軌道400Kmよりもはるか上空の宇宙空間を飛んでいるのです。安倍政権は、「落下物があれば警察か消防署に」と大騒ぎしていますが非科学的。危機をあおる安倍政権やマスコミに踊らされてはいけません。安全保障は、軍事的緊張ではなく『対話』から始めなければなりません。



安倍首相の別荘で3人仲良く缶ビールを飲みバーベキュー。加計学園の獣医学科設立でお先棒を担いだ萩生田は現在、自民党幹事長代行。



危機をあおる安倍政権。本当にミサイルが飛んできたら身を隠して助かるはずもない。